

1次関数のグラフの切片

$y = 2x$ と $y = 2x + 3$ の関係は、下の表ようになる。

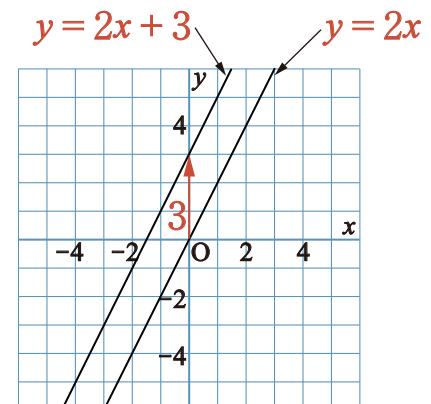
x	…	-2	-1	0	1	2	…
$2x$	…	-4	-2	0	2	4	…
$2x + 3$	…	0	1	3	5	7	…

+3

$y = 2x + 3$ のグラフでは、 $y = 2x$ のグラフを y 軸の正の向きに 3 だけ平行移動させたものとなる。

$y = ax + b$ のグラフは、 $y = ax$ のグラフを y 軸の正の向きに b だけ平行移動させたものとなる。

$y = ax + b$ のグラフの b を切片といい、グラフの直線と y 軸との交点の y 座標となる。



1次関数のグラフの傾き

$y = ax + b$ のグラフの a は、 x の値が 1 増加するときに、 y の値がいくつ増加するかをあらわす。

$y = ax + b$ のグラフの a を傾きといい、グラフの直線の傾きぐあいをあらわす。

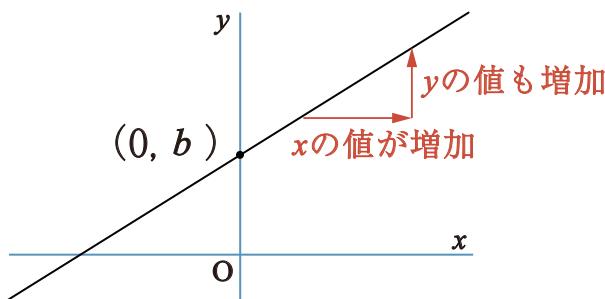
(1) $a > 0$ のとき、 x の値が増加すると、 y の値も増加する

右上がりのグラフとなる。

(2) $a < 0$ のとき、 x の値が増加すると、 y の値は減少する

右下がりのグラフとなる。

(1) $a > 0$ のとき右上がりのグラフ



(2) $a < 0$ のとき右下がりのグラフ

